

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

越生小学校では、年8回の「フレンズタイム」を実施、1年生から6年生が昼休みに室内や外で遊びます。7月のフレンズタイムでは暑い中でしたが、運動場では汗をかきながら、元気に「鬼ごっこ」や「どろけい」などで遊びました。

梅園小学校

6月22日に梅干しづくり体験教室が行われました。講師に宮崎勝一郎さん、立川登司さんを迎え、1・2・3年生が挑戦しました。多くの保護者のみなさんにもお手伝いいただきました。この様子はNHK首都圏ニュース845や埼玉新聞で紹介されました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子どもたちを写真で紹介するコーナーです。



越生中学校

7月7日、1年生は川越に、2年生は東京駅・上野方面に行ってきました。両学年とも修学旅行に向けて、班で協力し、楽しい校外学習になりました。

ズームイン教育243

目指せ！
日本一の越生中

越生中学校

5つの学校経営方針

越生中学校では、学校教育目標「自立の力を育む」のもと、「越中生としての自信と誇り」「授業、部活動、行事に燃える越生中」「目指せ！日本一の越生中」のスローガンを掲げ、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成し、保護者・地域から信頼され、活力のある学校を目指しています。

(その他6つ)

- ① 学力向上・体力向上
- ② 「積極的な生徒指導」
- ③ 越生町「3つの『あ』(中学生版)」を充実させます。
- ④ 教育相談を充実させ、教員
- ⑤ 指します(主体的・対話的で深い学び)の推進。
- ⑥ 体育の授業や体育的行事を充実させ、体力向上を目指します。(その他6つ)

- ① 自分自身で守る」という意識を高め、自ら安全に行動できるよう防災教育を充実させます。(その他7つ)
- ② 地域に信頼される学校」
- ③ 授業公開・保護者会等を充実させ、家庭・地域との連携を図ります。(その他6つ)
- ④ 安心して安全な学校」
- ⑤ 豊かな心の育成」
- ⑥ 道徳の授業を中心に全教育活動を通して、「豊かな心」の充実に努めます。
- ⑦ 職場体験活動やボランティア活動を充実させます。

と生徒、生徒相互の信頼関係の構築に努めます。(その他6つ)

こうした取り組みを通して「日本一」の越生中を目指します。

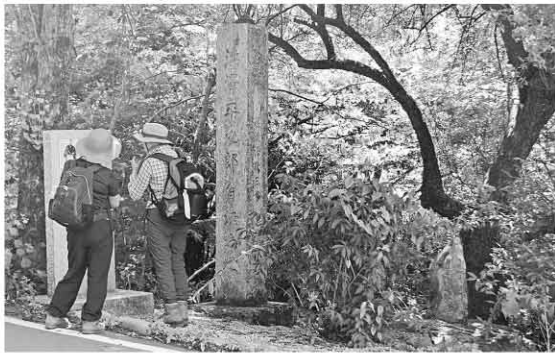
写真・日本一の体育祭を終え



越生浪漫

No.103

渋沢平九郎をめぐる
その2



渋沢平九郎自決の地（越生町指定史跡）

渋沢平九郎が最期を遂げた顔振川畔には、梅園村青年会と平九郎の生地八基村（現深谷市）青年団の発起による「澁澤平九郎自決之地」（渋沢敬三題字）の碑が建っています。碑蔭に次の美文が刻されています。「渋沢平九郎名は昌忠、



渋沢平九郎の墓（黒山 全洞院）

大里郡八基村に生まる。尾高藍香の季弟にして渋沢青淵の養子となり青淵渡欧の留守を護り、後生青淵大を成すの素因を作れり。明治元年振武軍を組織し選ばれて参謀となり飯能天覧山能仁寺に拠る。戦利あらず重圍を衝きて单身この地に至り、たまたま芸藩の諸兵に遭遇、詰められてその両三を倒し、遂に抗し難きをしりて、この巖上に従容自決す。時に慶応四年即ち明治元年五月二十三日、享年僅か二十二。その壮烈懦夫をして起たしめ鬼神をして哭かむるものあり。郷人これを讚嘆相伝えて今日に及び、さらに貞石に鐫してこれを後昆に述べんとす。平九郎家を辞するに当り絶筆あり、因にこれを記さん。曰く、衆人之樂者憂人之憂食人之食者死人之事。昭和二十九年三月 埼玉県文化財専門調査員 山口平八撰并書（原文は旧漢字。るび・

句読点は後補）◆『渋沢栄一伝記資料』に「明治六年八月十三日 是日栄一、芝崎確次郎二命じて越生村ニ、養子平九郎の首級ヲ求メシメ、更ニ七年十二月黒山村ニ遺骸ヲ尋ネ之ヲ収メテ歸リ、上野寛永寺ニ於テ仏事を営ミ、谷中ノ墓地ニ改葬ス」という記事があり、明治7年12月29日付の、黒山村戸長に宛てた墓石建立願いも収載されています◆全洞院に建てられた「澁澤平九郎之墓」の碑文は左記のとおりです。（右側面）「明治元歳五月廿三日為所事戦不克屠腹死時年式拾式」（左側面）「有志建之」（裏面）「發起人 東京府下大村昇 熊谷義一 芝崎義行 金子一郎 黒岩村横田佐平 世話人 大久保村岡野治三郎 黒山村浅見四郎」東京府下の4人のうち、芝崎義行（確次郎）は渋沢栄一の側近で大野村（現ときがわ町）の出身、他も渋沢家の関係者と思われまます。横田佐平は平九郎の首を密かに法恩寺に埋葬した一人、浅見四郎は黒山村戸長です。（※大久保村現毛呂山町西大久保カ）の岡野治三郎については不明）④

おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.64

オオスズメバチ

「ハチ目スズメバチ科」

オオスズメバチは目立つハチです。女王バチは特に大きく、飛んでいる姿を見ると、ほとんどのヒトは怖がります。本当は怖がる必要はないのですが、女王バチには攻撃性はないのです。怖いのは巣の近くのハタラクバチです。クヌギの樹液などの餌場に来てはハタラクバチにも攻撃性があります。餌場を縄張りにするスズメバチはオオスズメバチだけです◆オオスズメバチの女王は、春に単独で巣を造り始めます。前年の秋に、他の巣の雄バチと交尾をした女王は体内にある精子を使って受精卵を産み、その受精卵は雌バチになります。営巣初期の雌バチはハタラクバチになります。秋に体内で受精させた卵に由来する雌バチは新

女王バチになります。秋に女王バチは精子を使わず未受精卵も産みます。その未受精卵は雄バチになります◆夏の終わりにオオスズメバチの巣は巨大な巣になります。そのものを見るのは困難です。巣は土中か木の樹洞にあるからです。その巣に近づくと、ハタラクバチが侵入者の周囲を飛びながら大あくで力チカチという音を発します。これはハチの言葉で、「ここから出て行け」という命令です。その意味を理解し、何もせずにつつくりと巣から離れれば刺されることはありません。思わず手で払ってしまったら、その場から逃げてください。逃げるが勝ちです。

（巢瀬 司）



木にぶらさがってキイロスズメバチを肉団子にするオオスズメバチ(巢瀬・画)